## 就任のあいさつ

常務理事（地区統括）
**長尾 理夫**

新年明けましておめでとうございます。

統合によってJA高知県が誕生し、この度JA高知県の「幡多地区」の統括常務として就任を致しました。

1月1日から、JA高知はたは新たにJA高知県の「幡多地区」となり、旧JA高知はたと同じエリアを管内として、今後、理事6人（常勤3人、非常勤3人）と非常勤監事1人の合計7人の役員で、地区の事業運営を行っていくことになりました。

役員数が25人から大幅に削減され、旧JA高知はたの3ブロックに常務を配置したブロック体制は廃止となりましたが、現在の各支所・出張所・事業所等につきましては、現状の体制を維持した上で事業運営を継続して参ります。

統合によりJAの規模は大きくなりますが、「幡多地区」では今後も幡多の特色や長所を十分活かしつつ、事業と運営の両面において組合員、地域の皆様のご期待に添えるよう、7人の役員が職員と一丸となって全力を尽くして参る所存です。

今後もJA高知県の「幡多地区」として、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶と致します。

## 役員紹介

常務理事（信用共済） **吉福 洋**

幡多地区の農家組合員のため、全力で誠実に務めさせていただきます。今後とも変わりませぬご指導ご鞭撻を頂きますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

常務理事（経済） **岡野 郁夫**

県域JAの力を結集し、組合員や地域の方々に「合併して良くなった」と言っていただける組合を目指します。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

非常勤理事
**宇都宮 恵一**

高知県と幡多地区管内の農業振興、また、JA高知県の健全経営に努力致します。今後も組合員、地域の皆様のご指導の程をお願い申し上げます。

非常勤理事
**谷本 秀喜**

事業の全てにわたり、組合員から信頼されるJAを目指して頑張ります。益々のご協力をお願い申し上げます。

非常勤理事
**伊勢脇 精蔵**

地域農業および中山間農業者を取り巻く厳しい環境の中、組合員の所得向上、職員の生活安定を目指し、努力して参ります。

非常勤監事
**松田 博和**

JA高知県の目的である農家所得の増大、農業生産の拡大、地域社会の活性化を早期に発現できるよう、「誠実・公正」を旨とし、職務に努めます。

# 幡多地区から こんにちは 今月の気になる人

三原支所管内より

## アマリリスの開花が楽しみ

**新谷（にいや） 利子（としこ）さん（84）**

オランダから直輸入のアマリリスを通信カタログで買っています。これまでに25種類くらい揃えたでしょうか。毎年3月から5月に開花します。一斉に咲いたら本当に綺麗なんですよ。毎年開花が楽しみです。

花を見ていると嫌なことも忘れます。今はゼラニウムが綺麗に咲いていますね。

宿毛支所管内より

## 日本画のモデルなの

**東（ひがし） つくしちゃん（8）**

サバトラ模様が素敵でしょ。実は私、日本画のモデルをしているの。主人によると、私を描くと必ず入選するらしいわ。特選をとったこともあるそうよ。でもこう見えて実はハンター。ネズミやモグラも獲るわよ。

私の他に17歳のジェリーや1歳の琥珀も家族の一員。それぞれ個性的なの。

十和支所管内より

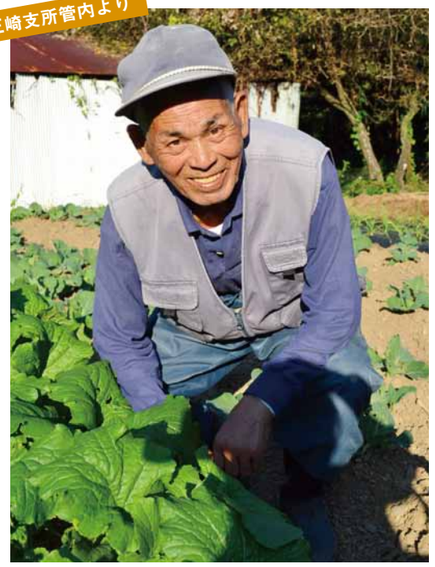
## 愛媛県から親子で実家へ

**清家（せいけ） 由美江（ゆみえ）さん（46）**
**龍二（りゅうじ）さん（26）**

私たちは親子です。私は八幡浜市、息子は西条市に暮らしています。仕事の休みを合わせて久しぶりに実家の母に会いに十和へ来ました。一晩泊まってゆっくりできました。

愛媛県の名物ですか？ 八幡浜は小さいミカンがおいしいですよ。西条は毎年10月からお祭りで賑わいます。ぜひ遊びに来てください。

三崎支所管内より



## 野菜はほとんど自家栽培

**中島（なかじま） 章雄（あきお）さん（85）**

ナバナやキャベツ、ニンニク、山芋、ネギなど、5アールの畑で多品目の野菜を栽培しています。収穫した野菜は自宅で食べたり、親戚にやったりです。野菜を買うことはほとんどありませんね。今日は赤タマネギの苗床を作っていました。今のところ、ナバナの出来が一番です。

西土佐支所管内より

## ナバナ作りはやりがい

**中野（なかの） 喜栄子（きえこ）さん（78）**

ナバナを移植しているところです。畑を遊ばせない程度の栽培ですが、JAに出荷しているのでお小遣い稼ぎにはなっています。大変でもうやめようかなと思う時もあります。でも、やめたら寂しいですよね。種まきと収穫が楽しいです。

花も好きで、畑の周囲に植えています。

大方支所管内より

## 年齢にびっくり?!

**岡田（おかだ） アランくん（19）**

僕は人間で言えば100歳に近いよ。後ろ足が立たないから、大好きだった散歩はもうできないけど、数年前まで1日に3、4回は散歩に連れて行ってもらっていたんだ。たくさん芸もできたんだよ。寝たきりだけど、今でも家族やご近所さんが可愛がってくれるから幸せ。

Monthly Topics

# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

現地検討会に参加するカイラン菜の生産者

## 1 宿毛支所

### 年々カイラン菜の出荷量増 パーシャル出荷で関東へも

宿毛支所露地野菜部会によるカイラン菜の出荷量が年々増えています。湿害に強い品目として2013年から栽培が始まり、関西を中心に出荷。出荷量の増加や鮮度保持が可能なパーシャルシール包装への変更によって、昨年11月1日からは関東圏への出荷も始まりました。

今年度産は同部会の11戸が、宿毛市内約1ヘクタールで栽培しています。水はけが悪い土壌でも栽培でき、荷作りが比較的簡単で経費の負担が少ないことから、同13年の2戸からロコミで広がりました。2017年度は約3.9tを出荷しました。

栽培は同市の主要品目のブロッコリーとほぼ同じで、ブロッコリーと組み合わせて栽培する農家が多いです。年内はカイラン菜、年明けからブロッコリーを出荷することが多いですが、カイラン菜は10月から2月まで収穫できます。県内ではJA高知市管内でも栽培されています。

なお、パーシャルシール包装は高知県の特許技術で、幡多地区ではニラや小ネギ、ナバナ、茎ブロッコリーでも導入しています。

協力して防護柵を設置する2地区の住民（四万十市坂本）

## 2 中村支所

### 四万十市山路と同市坂本 2地区が防護柵共同設置

四万十市山路と同市坂本の両地区は昨年11月から、獣害対策用の防護柵を共同で設置しています。両地区合わせて約10kmを設置予定で、幡多地区の鳥獣被害対策専門員も、設置とその指導に奔走しています。

両地区はともに北に四万十川、南に香山寺山を抱えて隣接しています。主にイノシシによる水稲被害が多く、山路地区の住民が昨年、共同設置を提案しました。坂本地区は過疎・高齢化が進み、これまでは防護柵を設置したくてもできない状況でした。

共同設置を提案した山崎陽一さん（42）は、60アールでブロッコリーを栽培。「共同で設置すれば早い」と話します。

田畑の周囲や山裾の草刈りから共同で行い、多い日は15人程度が集まります。若手の農家や専門員は防護柵を運んで打ち込む力仕事を担当。軽作業とで分担しています。

同市の2017年度の野生鳥獣による農業被害額は1282万円。さらなる獣害対策強化に向けて、幡多地区の各地で取り組みが進んでいます。

## 3 西土佐支所

### 黄玉ユズの出荷最盛期

箱詰め用の黄玉ユズを丁寧に拭く選果員

黄玉ユズの出荷が最盛期を迎えた昨年11月、西土佐支所では選果員の皆さんが箱詰め出荷用と小袋出荷用の選果に追われました。表年だったこともあり、今年度の同支所の黄玉ユズ出荷量は、前年より1～2割増になる見込みです。生産者は青果出荷率の向上に努めています。

同支所のユズ搾汁施設は、同月1日から稼働しました。ユズ果汁は、幡多地区の加工品「ゆず甘酢」や「ゆず塩だれ」などの原料になっています。

## 4 地区本部

### しめ縄作りで女性大学修了

講師（左）の説明を真剣に聞く女性大学の受講生

旧JA高知はたは昨年11月14日、女性大学はた小町すてっぷあっぷコースの第5回を四万十市の旧本所で開きました。今回は今年度の最終回で、講師に同市花屋のグリーンカーネーション、中平優さん、由紀さん夫妻を招き、受講生はお正月用のしめ縄作りを楽しみました。

しめ縄は、ダリアやアジサイ、クレマチスの葉などの造花を使い、装飾用に金色のタッセルを付けた洒落たもの。受講生はグルーガンを使って丁寧に作り、オリジナルのしめ縄を完成させました。

## 5 中村支所

### 提供野菜を給食献立に活用

提供野菜を生かした給食を味わう利用者

（福）高知県知的障害者育成会の多機能事業所「アオ」は、JAグリーンはた中村店に農産物などを出荷する「JA中村市直販所組合」から無償提供された野菜を、利用者の給食献立に活かしています。購入する野菜が減ったことで、年間の給食費の負担軽減につなげています。

組合の賛同を得て、売れ残った野菜の無償提供を受けるようになったのは2017年12月から。10代から70代までの利用者30人分の給食に使い、週5日提供しています。

## 6 佐賀支所

### リニューアル記念感謝祭

佐賀支所長（左）から紅白餅をプレゼントされる来店者

佐賀支所は昨年11月2日、信用共済課とみやた店（同支所内の日用品・食料品販売店舗）の改修工事竣工を記念して、リニューアル記念感謝祭を開きました。信用共済窓口の来店者には紅白の餅をプレゼントした他、直販所まごころ市で豚ロース肉、ジャスポート佐賀でガソリンやエンジンオイルを特価で販売しました。ご来場いただいた皆さん、どうもありがとうございました。

同支所は昨年9月下旬から防水・外装工事をしており、10月末に竣工しました。

役立つ！ 得する！ 情報

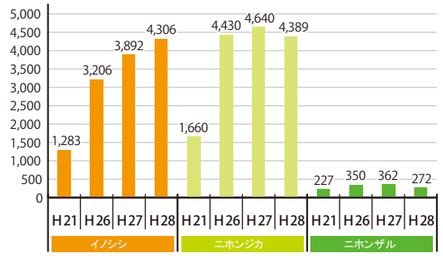
# えいのう～

## 鳥獣被害対策のススメ

幡多農業振興センター　佐田哲幸

### 1．鳥獣被害の現状

鳥獣による農作物への被害は、平成26～28年度の幡多地域の被害金額で7千5百万円～5千6百万円となっており、やや減少傾向となっています。捕獲頭数はイノシシ、ニホンジカで平成28年には4千頭を越えており、ニホンザルは3百頭前後と、ここ3年は横ばい状態ですが、以前と比べると増加傾向です（図1）。そこで、今月は鳥獣被害対策についてお知らせします。




【図1】平成21・26～28年度幡多地域の有害鳥獣捕獲頭数

### 2．野生獣が増加した背景

・植林の間伐などの手入れ不足による鳥獣の食物及び生息地の減少。
・耕作放棄地（田・畑）が増加し、里山がイノシシのえさ場やぬた場になっている。
・残飯や農作物収穫後の残渣のほ場への廃棄、家庭果樹等の放置が、格好のえさ場を提供。

また、近年、幡多地域ではニホンジカの生息範囲が広がっており、イノシシ用の防護柵では高さが足りず、新たな対策（高さが約2mの柵の設置）が必要となってきています。

### 3．鳥獣被害対策

鳥獣被害対策は大きく2つに分けられます。

①守り（防護対策）
・防護施設や器具の設置と定期的な管理。
・里山、耕作放棄地等の適正管理。
・野生鳥獣のえさ場を作らない。
・野生鳥獣を見たらできる範囲で追い払う。

②攻め（捕獲対策）
・くくりワナや囲いワナ、猟銃などによる鳥獣の捕獲。
・里山近辺の鳥獣固体数の削減。

こうした、守りと攻めの対策を効果的に実施し、鳥獣被害を減らしていくことが重要です。

鳥獣被害対策は個人だけでは解決できません。集落を中心として、地域全体で被害防止対策に取り組むことが必要です。

そのためには、中山間地域等直接支払協定や集落営農組織などのように、地域で組織的に被害防止対策に取り組むことをお勧めします。

今後、農村集落の人口が減少していく中、鳥獣被害対策に終わりはありません。できることから取り組みましょう。

## 幡多地区の 鳥獣対策専門員のご紹介

幡多地区には、3人の鳥獣被害対策専門員が対策に取り組んでいます。お困りの事がありましたら、管内を担当する専門員にお気軽にご相談ください。

十和・大正支所
管内担当
川﨑　貴資
0880-28-5225

宿毛・三崎・三原・大月支所
管内担当
橋村　陽介
0880-63-2194

中村・西土佐・大方・
佐賀支所管内担当
小野川　博友
0880-31-5301



初心者（家庭菜園）向け

# ネギを作ろう！

酸性に弱いので、苦土石灰などによって土の酸度を矯正しましょう。根は酸素を多く必要とします。通気や排水の良い場所で栽培し、排水溝をしっかり作りましょう。

栽培カレンダー（千住系）

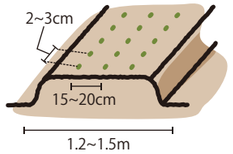
| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ● | ― | ■ | | | ● | ― | ■ | |

●:種まき　■:収穫

### ① 畑の準備

土壌酸度は6.0～6.5です。通気排水の良い土壌を好むので、十分に耕します。
元肥は種まきの7日前までに施して耕し、土と肥料を馴染ませます。施肥量は1㎡当たり苦土石灰を160g、有機1号ペレットを100gとします。
畝幅は1.2 ～ 1.5mとし、多湿地では高畝とします。

### ② 種まき




生育の適温は15～20度で、露地栽培の種まきの適期は4～5月、9～10月です。
まき幅2～3㎝で条間15～20㎝、必要種子量は1㎡当たり3ml程度です。薄く覆土し、もみ殻等で覆ってたっぷり灌水します。
約2ヵ月で小ネギとして収穫できます。

### ③ 追 肥

中耕を兼ねて条間に有機1号ペレットを40g施します。時期は草丈15㎝、30㎝の頃が目安です。
青ネギとして収穫したい場合は、植え付け（移植）後、10～20日後に、条間に有機1号ペレットを40g施します。その後は、月1回を目安に同量を施用します。
ただし、葉色や生育状況によって施肥量や時期を決めましょう。

### ④ 灌 水

発芽までの水分不足は発芽不良の原因になるので、もみ殻等を施した後はたっぷりと必ずかけましょう。
発芽後は少量の灌水とし、立枯れ病の誘因にならないように注意しましょう。
ネギは水分を好みます。青ネギとして収穫する場合は、保湿対策としてマルチングや敷きわらを行いますが、乾燥が続く場合は適宜灌水しましょう。

# ハクサイ栽培の知識

鍋物がおいしいこの季節、鍋の具材として欠かせないハクサイについて勉強しましょう。

栽培カレンダー（夏まき）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ● | ― | ■ | ■ | ■ |

●:種まき　■:収穫

ハクサイには結球・半結球・非結球の各タイプがあり、日本では結球タイプが主流です。また、ハクサイの栽培には春まきと夏まきがあります。3月頃にまくと、6月下旬から8月上旬にかけて収穫できます。

直まきの場合は、株間45～60㎝になるように、1ヵ所に数粒を点まきし、薄く覆土します。その後、間引きは3回くらいに分けて行い、生育の良い株を1つ残します。セル成型苗の場合は、セルトレイには2～3粒播種します。

施肥は株元を避け、1回目は畝の肩辺りに施し、2回目以降はさらにその外側に施します。

ハクサイは乾燥に強い点が特長です。台風や長雨など、高温・多湿になると病害が増えます。

種まきから収穫までの日数は、品種によっても異なりますが、おおむね60～80日です。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

いよいよJA高知県の発足が近くなって来ました。年末と重なって、職員も組合員も大変ですね。大きな組織になっても、今までの「はた日和」みたいな温かい情報交換ができる機会が欲しいです。西から東からおもしろい情報に期待しています。
（宿毛支所管内・真由美チャン）

▼「こうぐり」創刊号はいかがでしたか？ご期待に添えるように頑張ります！

「はた日和」のおしゃべり工房やクイズがいつも楽しみでした。ありがとうございました。新年からはJA高知県の広報誌を楽しみに待っています。
（十和支所管内・マリさん）

▼ありがとうございます！「こうぐり」にもお気軽にお便りをくださいね。

家庭菜園や果樹を楽しんでいる者にとって、すぐに役立つ教科書を載せていただき、ありがとうございました。特集の果樹剪定講習会―ユズ編はよく解説されていて大変参考になり、実践しました。統合まで残り少ないですが、「はた日和」頑張ってください。
（中村支所管内・有友政夫さん）

▼嬉しいお便りでした。執筆された幡多農業振興センターの中脇さんにもお伝えしますね！

先日ユズを数kg分けていただき、本州中部方面に送ったところ、喜びの電話が届きました。生産されている方に申し訳ない気持ちになりました。柚子の香に　早　冬至など思う秋
（西土佐支所管内・サチ・ヒロシさん）

▼消費者に喜んでもらうことが生産されている方の喜びにもつながると思います。冬至にはユズ風呂に入られましたか？

万願寺トウガラシの記事を読んで、私も作りたいと思いました。と言うのも、次女の嫁ぎ先のお父さんが休日の趣味の畑仕事でこの野菜をたくさん作られていて、娘がいつもいただくとの事。見たことも食べたこともなかったので驚いたと言っていました。名前も万の願いが叶うようでいいですよね。
（中村支所管内・あやママさん）

▼実は担当者もまだ万願寺トウガラシを食べたことがありません。ぜひ食べてみたいです。

【お便りの掲載について】
「こうぐり」2月号までは前広報誌「はた日和」同様、実名かペンネームを掲載させていただきますが、3月号からは年齢のみとなります。

INFORMATION

## お知らせ

### 1月4日から旅行業務は農協観光へ

地域の新たな旅行サービスとして、JA高知はた旅行センターに代わり、（株）農協観光高知支店が管内の旅行業務を行うことになりました。今後はJAの各支所が旅行に関するお問合せ・ご依頼等を農協観光にお取り次ぎ致しますので、最寄りの支所窓口までお気軽にお願い申し上げます。

長年にわたる多大なご愛顧について感謝申し上げますとともに、今後も旅行事業をご利用くださいますようお願い申し上げます。

（一社）日本旅行業協会正会員観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社　農協観光　高知支店
〒780-8511　高知市北御座2-27　JAビル6階
電話（088）-804-3377

### 農作業ヘルパー登録者募集中

幡多地区は、農家の農繁期や高齢化などによる労働力不足等、人手が足りない時期を支援するため、幡東・幡西・北幡の各営農センターに無料職業紹介所を開設し、農作業を手伝っていただけるヘルパー登録者を募集しています。

紹介所では、農作業ヘルパー登録者と雇用者との契約成立をお手伝いします。契約が成立して作業を実施したら、雇用者から賃金が支払われます。

詳しくはお気軽に下記までお問合せください。

お問合せ
幡東営農センター（中村・大方・佐賀支所管内）
0880-31-5301（担当：田頭、吉尾、酒井）
幡西営農センター（宿毛・三崎・三原・大月支所管内）
0880-63-2194（担当：石黒、佐藤）
北幡営農センター（西土佐・十和・大正支所管内）
0880-28-5225（担当：田向、安藤）

### 『とさのうと』ナバナ号見ましたか？

JAグループ高知の情報誌『とさのうと』最新号は昨年12月発行のナバナ号です。皆さんはもうご覧になりましたか？今回はナバナ産地である幡多地区の農家の皆さんが登場し、十和支所管内の手造りみそ「とどろみそ」もご紹介しています。ぜひご覧ください。

読者プレゼントのお申込締切りは今月末です。お見逃しなく！『とさのうと』はお近くの支所窓口やATM、直販所などに置いています。ご自由にお取りください。

ナバナ農家の林さんの取材の様子